

正覚寺だより

スジャータ

45

平成21年(2009)

7月10日発行

「スジャータとは、6年間の苦行に疲れたお釈迦様に牛乳で作ったお粥を供養したインドの女性の名前である」

法然共生

平成23年は法然上人の800年大遠忌です

「永代供養合同墓」
の新設

屋内墓所「げんじょうでん還浄殿」
の増設



[住職のつぶやき]

毎日が生放送

—台本もなければ
リハーサルもなし—

小路をゆく (75×140cm) 住職画



[住職のつぶやき]

毎日が生放送

—台本もなければ
リハーサルもなし—

住職／山縣 正紀



(1)

大型の消防車にぶつけられた経験がある。

京都で運転中、突然近くでサイレンが鳴り響き、路肩に停車した直後だった。消防署から勢いよく飛び出してきた消防車がスリップして、その後部が私の運転席ドアを直撃した。

火災現場へ急ぐとはいえ少々スピードの出し過ぎ、しかもそのまま走り去ってしまったのだ。

現場がちょうど交番の前、お巡りさんが事故を目撃していたので、事後の処理もスムーズに終わりケガもなくて良かった。

だが、もし警官が見ていなかったら、どうだっただろうか？

「緊急自動車の走行を妨害した」と、私が罪に問われていたかもしれない。

(2)

パトカーの追跡劇に遭遇したこともある。片側三車線の今西通りを走行中、真っ正面から逆走するパトカーがぐんぐん近づいて来たのだ!! いくらサイレンを鳴らしているパトカーとはいえ、中央分離帯を越えて逆走する事が許されるのだろうか。

わが目を疑いながら急ブレーキを踏んだ時、パトカーの前にもう1台、バイクが突進して来るのに気づいた。あわや接触というところで、ヒラリとかわし今度は歩道を逃

走。パトカーもまた歩道の上を追跡し、2台はナンと横断歩道を渡って片山の住宅街へ走り込んだのである。

それもかなりのスピード。まるでアメリカ映画のカーチェイスを見ているようだった。

(3)

永年、車を運転していると色んなことがあるものだ。

当然開くはずのETCゲートが開かなかったこともある。今年の5月、クレアライン坂料金所でのことだ。

その日、ETCを通過するのは5回目。それまでの4回は正しく作動していたので、予想外の事態にパニックブレーキとなった。比較的低速で進入していたから回避出来たが、事故を想像するとゾットする。

(4)

私達の人生には、啞然とすること、絶句すること、予期せぬことが次々と起こる。

今年、新型インフルエンザが発生した初期の頃、カナダ帰りの高校生達が成田のホテルに7日間停留されたことがあった。

私にも中学生の時、同様の経験がある。修学旅行先で、法定伝染病の赤痢に感染したのだ。同級生のほとんど約300人の集団感染である。当時のこと、ホテルの個室が用意されるはずもなく、和庄中学校の教室に3週間も軟禁(?)された。

自前の布団を持ち込んで、板張りの床に直接寝る劣悪な雑魚寝生活。しかも感染していても発症していない、元気盛りの中学生達だから始末が悪い。

そして、めでたく発病した生徒から順に、病院の隔離病棟へ送り込まれたのだった。

(5)

私達は、台本もリハーサルもない人生を歩んでいる。撮り直しも編集も出来ない。まさに一度限りの生放送みたいなものだ。

しかも、いつ踏み外しても不思議でない、綱渡りのような細くて危うい道を歩いている。

だが、これから何が起こっても「何でも、それを楽しんでやろう」と思う。

「楽しいことを楽しむ」

のは当たり前。

「辛いことでも楽しめる」

そんな人になりたい。私達の人生から

「苦勞がなくなる」

ことはないが、それが

「苦勞でなくなる」

時がある。そこには

「苦勞さえも楽しむ」

という、そんな境地がある。

法然上人はそのことを

「転重軽受」つまり、病氣や災難など

「重きを転がして、軽く受けとめる」

ことが出来ると説かれた。

信じて念仏を称える人の功德である。

誕生寺へ参拝しました 去る4月21日から1泊2日



今年は、法然上人が生まれられた屋敷跡の誕生寺へお参りました。幸い好天にも恵まれ、観光旅行とはまた一味違うお参りの旅が出来ました。

毎年、企画しますので初めての方もどうぞご参加下さい。

◀途中、立寄った西条の随泉寺にて

正覚寺ホームページ

<http://www2.ocn.ne.jp/~shoukaku/>

呉市 正覚寺

検索

まだまだ制作途中ですが、どうぞご覧下さい。





お盆の行事

どうぞお参り下さい

お盆をむかえる

たな ぎょう ほう よう
棚経法要

7月19日(日)

■ 朝9時から11時まで

同封の水色の回向袋に棚経回向ご希望の戒名をご記入の上、当日ご持参下されば回向した後、「棚経回向之證」をお渡しいたします。それぞれの家庭の仏壇に祀って、お盆をお迎え下さい。



感謝の気持ちで

せ が き え
施餓鬼会

8月15日(土)

■ 朝9時から11時まで

同封の黄色の回向袋に塔婆回向ご希望の戒名をご記入して、当日ご持参下さい。塔婆に書きかえてご回向致します。



ボランティア募集中

書道経験者の方々、ご協力をお願いできませんか？

最近では毛筆を使われる方が少なくなって困っております。よろしくご協力致します。

自筆コーナー

待ち時間が長くなるので、戒名を塔婆へ自分で書かれても結構です。玄関前に筆ペンを用意して自筆コーナーを設けていますからご利用下さい。



初盆を迎える方 7月15日までにご連絡下さい

- 市内で特に希望される家にはお参り致します。また、正覚寺で行うことも出来ます。
- ご希望の方は7月15日までにご連絡下さい。その後、お参りする日時を決めて、お知らせ致します。
- 棚経法要(7/19)、施餓鬼会(8/15)の回向袋には「初盆」と書いてお参り下さい。

昨年の回向之證はどうする？

- 昨年の「棚経回向之證」がまだ仏壇にある方は、当日ご持参下さい。
- 後日まとめて浄火供養(焼却)いたします。

駐車場について

例年のように確保できるか、直前にならないと分かりませんが、総代、青年会の方々が炎天下にボランティアで係をさせていただきます。恐れ入りますがその指示に従って下さい。

屋内墓所「^{げん じょう でん}還浄殿」の増設

〈竣工〉今年の秋彼岸 新たに 42 基

本堂の北側にある鉄筋の建物、その3階と4階が納骨堂形式のお墓になっているのはご存じのことと思います。現在すでに総て使用されています。

そこでこの度、4階の中央部分に42基増設することになりました。秋口着工、秋のお彼岸には完成の予定ですが、スペースの関係でこれが最後の設置になります。

ご希望の方は、どうぞお問い合わせ下さい。但し、ご使用いただけるのは正覚寺檀家の方だけです。



下半分に納骨、上は仏壇のようにになっている。

永代供養合同墓の新設

屋内墓所「還浄殿」の4階へ

時代の要請を受け「永代供養合同墓」を新設することに致しました。

昨今の家族形態の多様化から、今までのような「家」としての墓を維持管理出来ないケースがみられる様になりました。将来、無縁墓になるのを避けるため「元気な時に皆で手を合わせ、没後には皆で一緒に入ろう」「回向は正覚寺が永代供養します」と言うのが永代供養合同墓です。

納骨後、一定期間経過すると遺骨は合祀しますが、戒名を専用の過去帳に記載して毎年読経ご回向いたします。

お元気な時の申込みもお受け致します。詳しくはお問い合わせ下さい。

法然上人800年大遠忌

平成23年に法然上人没後800年を迎え、大遠忌といえます。

正覚寺ではそれに向けて、以前から境内内外の整備をすすめています。

毎年少しづつ行ってきたので分かりにくいと思いますが、例えば本堂でいえば、屋根瓦の葺き替え、内外装のリニューアル、エアコンや床下換気扇の設置などです。

この度の屋内墓所「還浄殿」増設と「永代供養合同墓」の新設も、その記念事業の一つとして行うものです。



庭に咲いた蓮華



■ 秋の法要ご案内

あき ひ がん え
秋彼岸会

9月20日(日)

■朝 10 時より

じゅう や ほう よう えい たい きょう く よう
十夜法要・永代経供養

11月15日(日)

■朝 10 時より

あ と が き

- 住所やお名前に間違いがありましたら、どうぞお知らせ下さい。
- この「スジャータ」を別に住まわれているご家族や、親族の方にもお送り致します。ご希望の方は、ご遠慮なくご連絡下さい。
- 今年も6月1日、大掃除が行われました。たくさんの方々の奉仕により、気持ちよくお盆が迎えられそうです。ありがとうございました。
- 8月15日(盆施餓鬼会)にお参りの方には、住職が描いた団扇(うちわ)を差し上げるよう今年も準備しているところです。
- 9月18日(金)から3日間、呉市文化ホール2階展示室で住職の参加している絵画グループ「互楽会」展を開催します。
- 茶菓とギターの生演奏も楽しんで頂けます。どうぞ気楽にお立ち寄り下さい。もちろん入場料は無料ですから。



昨年のうちわ



発行所 / 〒737-0033 呉市寺本町 2-1 浄土宗 正覚寺

でんわ / 0823-21-6086 Eメール / shoukaku@orange.ocn.ne.jp

FAX / 0823-22-9922 郵便振替 / 01300-5-13754